

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月16日

派遣決定番号

報告回次 4日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	筑後市	代表者名	西田 正治
担当者部署	総務部企画調整課	連絡先電話番号	0942-53-4116
担当者役職	DX推進担当係長	担当者氏名	村上 貴士
住所	833-0031 福岡県筑後市大字山ノ井898番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	課長職にある者 (対象33名) に対する研修を開催頂きました。当日は24名の職員が参加しました。また、先生のご厚意により、庁内の職員研修目的に限り録画した動画の活用についても承諾頂きましたので、欠席した職員にも視聴させることとしています。 研修後アンケートの結果、約83%の職員が「大変参考になった、参考になった」と回答し、同じく82%の職員が「(DXは現在の業務に) 大変役立つと思う、役立つと思う」と回答しました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年11月28日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			13時00分	15時30分	0
				活動時間 (分)	150

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	24 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	職員へのDXにかかる認識共有・機運醸成を目的とした研修の開催	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DX推進のため職員の認識共有・機運醸成がなされ、DXが全庁的な取り組みとして定着すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	課長職にある職員のDX研修を開催した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員の認識共有とDXに対する機運醸成が図られた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修後アンケートの結果、約83%の職員が「大変参考になった、参考になった」と回答し、同じく82%の職員が「(DXは現在の業務に)大変役立つと思う、役立つと思う」と回答しました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	今後、各DX施策について具体的に検討し、可能なものから順次着手していく。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



